SONY

2-067-134-**03**(1)

# *AIT Drive*

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

StorStation

***AIT-2 Turbo TAPE DRIVE***
***AITe200-UL/AITe200T-UL***

***AIT-2 TAPE DRIVE***
***AITe130V-UL***

***AIT-1 Turbo TAPE DRIVE***
***AITe100-UL/AITe100T-UL***

***AIT-1 TAPE DRIVE***
***AITe90V-UL***

©2004 Sony Corporation

# ⚠警告　安全のために

電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。
この冊子には、製品全般の注意事項が記されています。

## 定期的に点検する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

## 故障したら使わない

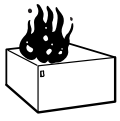
すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

**•煙が出たら**
**•異常な音、においがしたら**
**•内部に水、異物が入ったら**
**•製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

➡
❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店に連絡する。

**炎が出たら**



➡
● 電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを落とす。
● 大声で応援の人を呼ぶ。
● 水をどんどんかけるか、消火器を使って火を消す。
● 119 番へ通報する。

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電などによりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

**行為を禁止する記号**

**行為を指示する記号**

**⚠警告** 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

禁止

## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しない。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店に交換をご依頼ください。

プラグをコンセントから抜く

分解禁止

## 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店にご依頼ください。

指示

## 日本国内で使用する場合

交流 100V でお使いください。
異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

## 水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。

**⚠警告** 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

注意

### 電源プラグの端子、および端子の取付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭く。

そのまま使用すると火災の原因となります。

注意

### 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

火災、故障の原因となることがあります。

アース線を接続せよ

### 同梱の変換プラグをご使用の際は、アース線をコンセントのアース端子に接続する。

同梱の3極→2極変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ている緑色のアース線を、建物のコンセントに備えられているアース端子に接続してください。
アース端子のないコンセントには電源コードを接続しないでください。
火災や感電の原因となることがあります。

**⚠注意**

下記の注意事項を守らないと、
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、感電の原因となることがあります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、感電の原因となることがあります。

禁止

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

**⚠注意**

下記の注意事項を守らないと、
**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落下したりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。

禁止

### 製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

### 機器を移動する場合、あるいはお手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
接続ケーブルなどもはずしてください。
長時間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

### 指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

接触禁止

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

注意

### 接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

**安全認証のための Model No.**

本製品は機器本体に貼り付けられた銘板に Model No. と記載された番号で安全認証機関に登録されています。認証の照合など、必要な場合はこの Model No. をご参照ください。

## RoHS 指令（欧州環境規制）に対応済

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

# 目次


**第1章　概要**

AITドライブユニットについて ..... 9
特長 ..... 9
必要なシステム構成 ..... 11
使用できるデータカートリッジ ..... 11
各部の名称と働き ..... 13
前面 ..... 13
後面 ..... 15

**第2章　準備**

内容物を確認する ..... 16
接続のしかた ..... 17
DIPスイッチの設定 ..... 18
i.LINK（アイリンク）について ..... 20

**第3章　使いかた**

AIT ドライブユニットを使う ..... 22
カートリッジを取り出すには ..... 23
防塵カバーの取り付け ..... 24

**第4章**
**取り扱いについて**

本機の取り扱い ..... 26
安全にお使いいただくために ..... 26
万一の故障を防ぐために ..... 26
その他ご注意いただきたいこと ..... 27
カートリッジの取り扱い ..... 28
取り扱い上のご注意 ..... 28
保管上のご注意 ..... 28
クリーニングについて ..... 29
クリーニングのしかた ..... 29

**付録**

主な仕様 ..... 30
性能 ..... 30
環境条件 ..... 30
電源・その他 ..... 30
お問い合わせ先 ..... 31
デバイスドライバー・接続情報について ..... 31


- 本製品を使用したことにより、万一カートリッジに記録されているデータが失われた場合でも、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、ソニーでは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

# 説明書の使いかた

この取扱説明書は、AITドライブユニットの使いかた、取り扱いかたについて説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。
お読みになったあとも、この取扱説明書を保存しておいてください。

本書は、次の4つの章と付録で構成されています。
目的に合わせてお読みください。

□ **第1章　概要**
本機の特長やシステム構成、各部の名称と働きなどについて説明しています。

□ **第2章　準備**
本機とホストコンピューターや他の周辺機器との接続のしかたについて説明しています。設置の際にお読みください。

□ **第3章　使いかた**
本機の電源の入れかた、カートリッジの入れかた、取り出しかたについて説明しています。実際にお使いになるときにお読みください。

□ **第4章　取り扱いについて**
本機やカートリッジの取り扱い上の注意について説明しています。また、クリーニングについても説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。

□ **付録**
本機の主な仕様について、説明しています。

**インターフェースの表記について**
「IEEE 1394」と「i.LINK」は同じインターフェースです。本書では、「IEEE 1394」を「i.LINK」で表記しています。

**商標**
MicrosoftおよびWindowsは、それぞれ米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
その他記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。この説明書では、™または®マークを明記していません。

# 第1章　概要

## AITドライブユニットについて

AITe200-ULはAIT-2 Turbo、AIT-2、AIT-1 Turbo、AIT-1、AIT-E Turboフォーマットに対応した外付けAITドライブユニットです。
AITe130V-ULはAIT-2とAIT-1フォーマットに対応した外付けAIT-2ドライブユニットです。
AITe100-ULはAIT-1 Turbo、AIT-1、AIT-E Turboフォーマットに対応した外付けAITドライブユニットです。
AITe90V-ULはAIT-1フォーマットに対応した外付けAITドライブユニットです。

### 特長

□　AITe200-ULには次の特長があります。

- AIT（Advanced Intelligent Tape）フォーマットを使って、データをAIT-2 Turboデータカートリッジ（186 m、データ圧縮なしで80 Gバイト）、AIT-2 データカートリッジ（230 m、データ圧縮なしで50 Gバイト）、AIT-1 Turbo データカートリッジ（186 m、データ圧縮なしで40 Gバイト）、AIT-1データカートリッジ（230 m、データの圧縮なしで35 Gバイト）、AIT-E Turboデータカートリッジ（98 m、データ圧縮なしで20 Gバイト）に記録できます。リードアフターライト機能と3重のエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。
- 本機はデータ圧縮機能を持っているので、AIT-2 Turbo カートリッジ（186 mのテープ）に最大208 Gバイト、AIT-2カートリッジ（230 mのテープ）に最大130 Gバイト、AIT-1 Turbo カートリッジ（186 mのテープ）に最大104 Gバイト、AIT-1カートリッジ（230 mのテープ）に最大91 Gバイト、AIT-E Turbo カートリッジ（98 mのテープ）に最大52 Gバイトのデータを記録できます。*1

□　AITe130V-ULには次の特長があります。

- AIT（Advanced Intelligent Tape）フォーマットを使って、データをAIT-2データカートリッジ（230 m、データ圧縮なしで50 Gバイト）やAIT-1データカートリッジ（230 m、データの圧縮なしで35 Gバイト）に記録できます。リードアフターライト機能と3重のエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。
- 本機はデータ圧縮機能を持っているので、AIT-2カートリッジ（230 mのテープ）に最大130 Gバイト、AIT-1カートリッジ（230 mのテープ）に最大91 Gバイトのデータを記録できます。*1

*1 2.6:1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境やデータの種類によって異なります。

□ AITe100-ULには次の特長があります。

- AIT（Advanced Intelligent Tape）フォーマットを使って、データをAIT-1 Turbo データカートリッジ（186 m、データ圧縮なしで40 Gバイト）、AIT-1 データカートリッジ（230 m、データの圧縮なしで35 Gバイト）、AIT-E Turbo データカートリッジ（98 m、データ圧縮なしで20 Gバイト）に記録できます。リードアフターライト機能と3重のエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。
- 本機はデータ圧縮機能を持っているので、AIT-1 Turbo カートリッジ（186 mのテープ）に最大104 Gバイト、AIT-1 カートリッジ（230 mのテープ）に最大91 Gバイト、AIT-E Turbo カートリッジ（98 mのテープ）に最大52 Gバイトのデータを記録できます。*1

□ AITe90V-ULには次の特長があります。

- AIT（Advanced Intelligent Tape）フォーマットを使ってデータをAIT-1 データカートリッジ（230 m、データの圧縮なしで35 Gバイト）に記録できます。リードアフターライト機能と3重のエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。
- 本機はデータ圧縮機能を持っているので、AIT-1カートリッジ（230 mのテープ）に最大91 Gバイトのデータを記録できます。*1

□ カートリッジに記録されているデータが圧縮されているのか、されていないのかを自動判別します。他の機器で記録されたデータも、そのまま読み出すことができます。

□ USBおよびi.LINK（IEEE 1394）のインターフェースに対応しています。パソコンに搭載されているUSBコネクターまたはi.LINKコネクターのどちらにも接続できます。

**ご注意**

USBとi.LINKのインターフェースを同時に使用することはできません。

□ ホットプラグに対応しています。本機やパソコンの電源が入っている状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

□ ドライブを取り外すときは、OS上から［ハードウェアの安全な取り外し］を実行してから外してください。

*1 2.6:1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境やデータの種類によって異なります。

## 必要なシステム構成

本機を使用するためには、下記のシステムが必要です。

- PC/AT互換パソコン（300MHz以上のCPU搭載）
- NTbackupを使用する場合：Windows XP、Windows Server 2003
- 1Safe™を使用する場合：Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SE
- CD-ROMドライブ（ソフトウェアインストール用）
- i.LINK（IEEE 1394）インターフェース、USBインターフェースのいずれか

## 使用できるデータカートリッジ

AITe200-ULには、AIT-2 Turbo、AIT-2、AIT-1 Turbo、AIT-1、AIT-E Turboデータカートリッジを使用できます。
AITe130V-ULには、AIT-2またはAIT-1データカートリッジを使用できます。
AITe100-ULには、AIT-1 Turbo、AIT-1、AIT-E Turboデータカートリッジを使用できます。
AITe90V-ULには、AIT-1データカートリッジを使用してください。

AIT-2 Turbo マーク

AIT-2マーク

AIT-1 Turbo マーク

AIT-1マーク

AIT-E Turbo マーク

**データカートリッジ**

| | 名称 | 容量（非圧縮時） |
|---|---|---|
| AIT-2 Turbo | TAIT2-80N | 80 Gバイト |
| | TAIT2-80C | 80 Gバイト |
| AIT-2 | SDX2-50C | 50 Gバイト |
| | SDX2-36C | 36 Gバイト |
| AIT-1 Turbo | TAIT1-40N | 40 Gバイト |
| | TAIT1-40C | 40 Gバイト |
| AIT-1 | SDX1-35C | 35 Gバイト |
| | SDX1-25C | 25 Gバイト |
| AIT-E Turbo | TAITE-20N | 20 Gバイト |

AIT用クリーニングカートリッジ

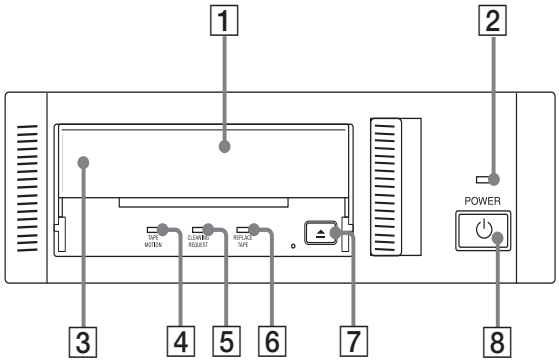
| 名称 | 内容 |
|---|---|
| SDX1-CL | AITドライブユニット専用クリーニングカートリッジ |

**ご注意**

- 本機には、専用のAITデータカートリッジを使用してください。
- 市販の8 mmビデオテープは、外観は似ていますが、仕様がまったく違うので使用できません。8 mmビデオテープなどAITカートリッジ以外のカートリッジをセットしないでください。故障の原因になります。

# 各部の名称と働き

## 前面




### 1 データカートリッジ挿入口

AITデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては22、23ページをご覧ください。

### 2 POWERインジケーター

電源が投入（オン）されている間、点灯します。

### 3 防塵カバー

データカートリッジ挿入口を保護するカバーです。

### 4 TAPE MOTIONインジケーター

AITデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

| | |
|---|---|
| **カートリッジが挿入されているとき** | 点灯します。 |
| **カートリッジにデータをRead/Writeしているとき** | 等間隔に点滅します。 |
| **カートリッジにRead/Write以外の動作をしているとき** | 長い点灯と短い消灯を繰り返します。 |

### 5 CLEANING REQUESTインジケーター

クリーニングに関するステータス状態を表示します。

| | |
|---|---|
| **クリーニングが必要なとき** | 点灯します。 |
| **クリーニング動作が進行中のとき** | 長い点灯と短い消灯を繰り返します。 |

### 6 REPLACE TAPEインジケーター

挿入されているAITデータカートリッジの状態を表示します。

| | |
|---|---|
| **カートリッジが劣化してきたとき** | 等間隔に点滅します。 |
| **カートリッジを交換すべき時期が来たとき*** | 点灯します。 |

* テープに起因するエラーが一定レベル以上に達したとき

- さらに4、5、6のインジケーターが同時に点滅する場合は、ハードウェア的な問題が起きていることを示します。

カートリッジを入れ替えたり、電源を入れなおしても同じ状態が続くようなら、本機のお買い上げ店に点検・修理をご相談ください。

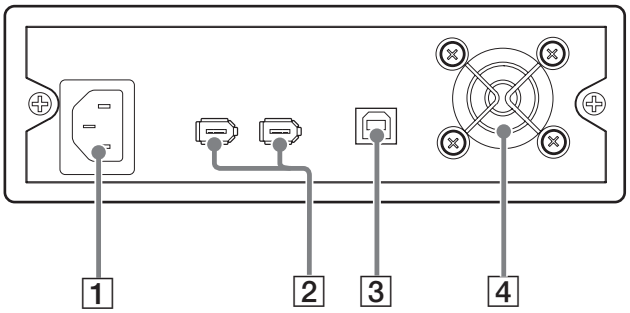
### 7 EJECTボタン

AITデータカートリッジを本機から取り出すときに押します。

### 8 POWERスイッチ

電源を入れたり切ったり（オン／オフ）するときに押します。

## 後面




**1** AC IN コネクター

付属の電源コードを接続します。

**2** i.LINKコネクター（ ）

ホストコンピューターのi.LINKコネクターと接続します。

**3** USBコネクター（ ）

ホストコンピューターのUSBコネクターや、USB HUBのコネクターと接続します。

**4** ファン

# 第2章　準備

内容物を確認してから、本機をホストコンピューターやルートHUBに接続します。

## 内容物を確認する

梱包を開いたら、下記の付属品がそろっているか確認してください。不足しているものがあったり、何らかの損傷がある場合には、お買い上げ店にご相談ください。

- □ AITドライブユニット本体
- □ クイックスタートガイド
- □ AITデータカートリッジ
- □ 取扱説明書CD-ROM
- □ CD-ROM（1Safe™ Software）（AITe200-UL/AITe200T-UL除く）
- □ USB 2.0対応接続ケーブル
- □ i.LINK接続ケーブル2本（6 pin - 6 pin、6 pin - 4 pin）
- □ 電源コード
- □ 保証書
- □ 3極→2極変換プラグ
- □ Safety Regulations

**ご注意**

付属の変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。アース端子のないコンセントには絶対に接続しないでください。

**メモ**

付属品は、箱に貼られている同梱物リストに記載されています。

# 接続のしかた

### USB接続の場合

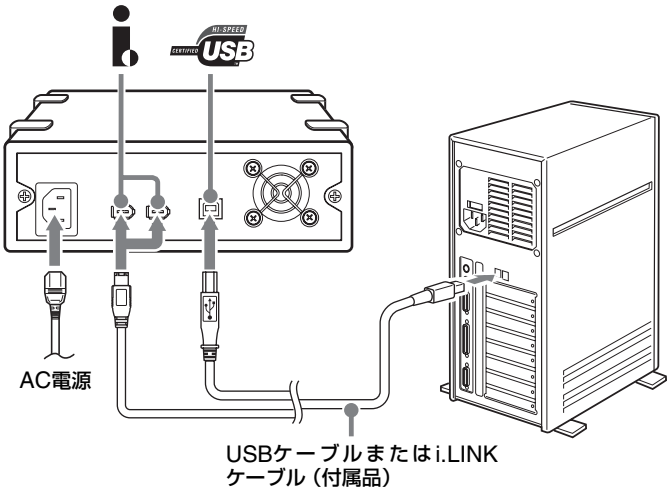
ホストコンピューターのUSBコネクター（またはルートHUBのコネクター）と本機のUSBコネクターを、USBケーブルで接続します。

### i.LINK接続の場合

ホストコンピューターのi.LINKコネクターと本機のi.LINKコネクターを、i.LINKケーブルで接続します。他の機器とデイジー・チェーン接続することもできます。

**ご注意**

USBとi.LINKのインターフェースを同時に使用することはできません。

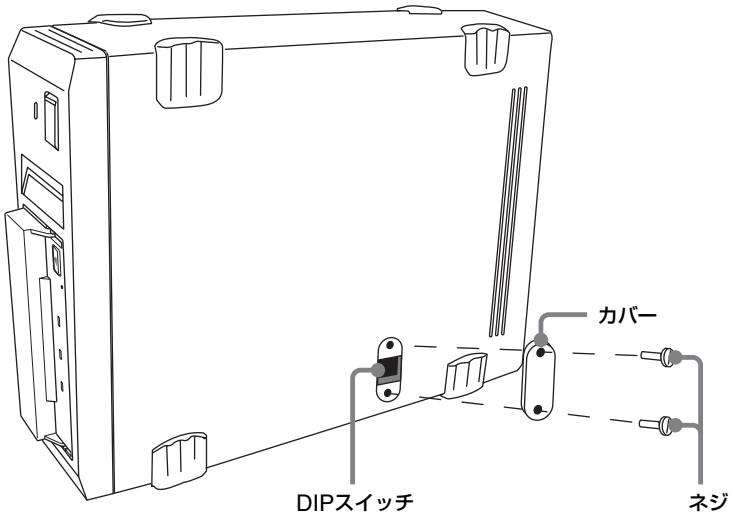


# DIPスイッチの設定

ドライバーでネジ（2個）をゆるめてカバーを取りはずし、下図を参照して、DIPスイッチの設定を変更してください。
設定を変更した後は、カバーをもとのように取り付けてください。

**ご注意**

- カバーを取りはずす前に、本機の電源を切って、本体から電源コードを抜いておいてください。
- DIPスイッチの設定変更後、カバーは、もともと使用されていた正規のネジで固定してください。

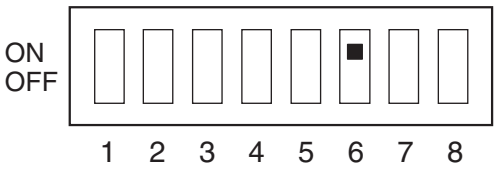



## DIPスイッチのポジション

**工場出荷時**

1 Drive Mode (OFF)
2 Drive Mode (OFF)
3 Drive Mode (OFF)
4 Drive Mode (OFF)
5 Reserved (OFF)
6 Periodic Cleanig Req (OFF)
7 データ圧縮 (1) (ON)
8 データ圧縮 (2) (OFF)

### Cleaning Request Mode




1 Drive Mode
2 Drive Mode
3 Drive Mode
4 Drive Mode
5 Reserved
6 Periodic Cleanig Req (ON)
7 **データ圧縮 (1)**
8 **データ圧縮 (2)**

ディップスイッチでクリーニングリクエストを設定できます。
6番目のディップスイッチをONにすると、クリーニングリクエストが有効になります。この場合、動作100時間ごとに、前面パネルの“CLEANING REQUEST”LEDが点灯します。
“CLEANING REQUEST”LEDが点灯しているときは、クリーニングテープでクリーニングを実施してください。

**メモ**

ほこり等の気になる環境で、ドライブを最適な状態に保つためには、クリーニングリクエストを有効にしてご使用になることをおすすめします。

### Emulation Mode* (AITe130V-UL/AITe90V-ULのみ)

1 Drive Mode (ON)
2 Drive Mode (ON)
3 Drive Mode (ON)
4 Drive Mode (ON)
5 Reserved
6 Periodic Cleanig Req
7 **データ圧縮 (1)**
8 **データ圧縮 (2)**

* Emulation Modeでは、AITe130V-ULのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-520C

* Emulation Modeでは、AITe90V-ULのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-420C

## データ圧縮の設定について

データ圧縮は、DIPスイッチで設定することができます。
ポジション7 (データ圧縮 (1)) がオン のときは、データ圧縮が有効となります。
ポジション8 (データ圧縮 (2)) をオン にすると、ホストによるコントロールが無効となります。

## i.LINK（アイリンク）について

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。
接続する機器の特性や仕様によっては、下記の説明とは異なった制限がある場合があります。

### i.LINKとは？

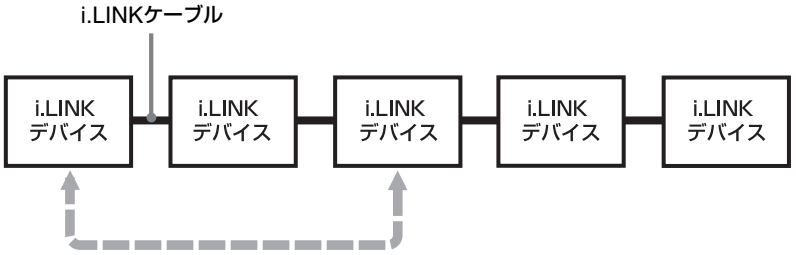
i.LINKは、i.LINKコネクターを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

**ちょっと一言**

i.LINK（アイリンク）はIEEE 1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE 1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

### i.LINKでの接続について

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジー・チェーン」と呼びます。

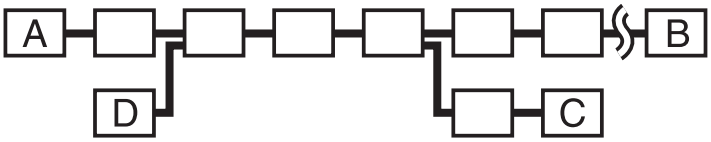



**2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。**

### 途中から分岐してつなぐこともできます

- i.LINKコネクターを3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK対応機器は、本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。(i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。)

ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA➔Cの経路は6ホップ、A➔Dの経路は3ホップとなります。

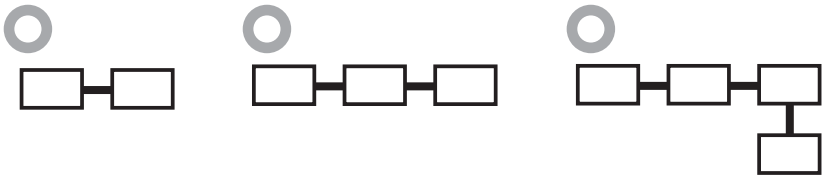



**A➔B、A➔C、A➔D、B➔C、B➔D、C➔D、いずれの経路も最大17台の機器を接続できます。(最大16ホップ)。**

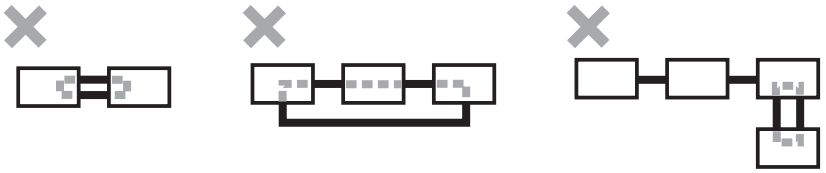
### 接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪(環状)になることを「ループ」と呼びます。

### 正しい接続例



### ループの接続例



### 接続についてのご注意

- コンピューターなどの一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400 Mbpsが定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

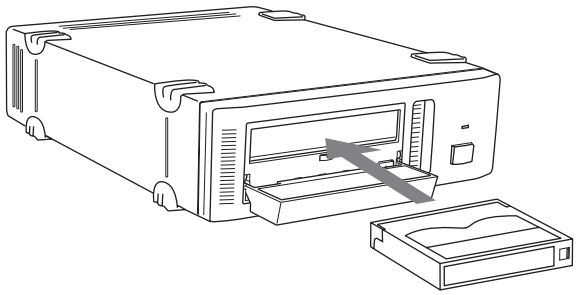
# 第3章　使いかた

ここでは、AITドライブユニットの立ち上げかた、カートリッジの取り扱いかたなどについて説明します。

## AIT ドライブユニットを使う

**1** フロントパネルのPOWERスイッチを入れます。
電源が入り、POWERインジケーターが点灯します。セルフチェックが始まり、TAPE MOTIONインジケーター、CLEANING REQUESTインジケーターおよびREPLACE TAPEインジケーターが点滅します。

**2** 3つのインジケーターの点滅が終わったら、防塵カバーを開き、AITデータカートリッジを下図の向きに挿入します。
TAPE MOTIONインジケーターが点灯します。



**3** コンピューター上でソフトウェアを使って、テープ上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。
読み取り、書き込み中は、TAPE MOTIONインジケーターが点滅します。

**4** 防塵カバーを閉めます。

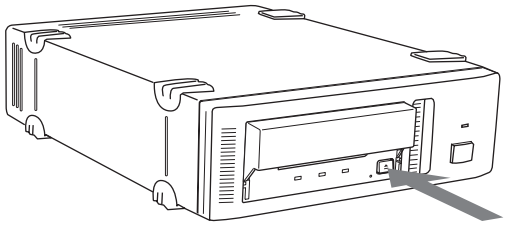
**ご注意**

動作中はドライブユニットの後面に触れないでください。誤動作の原因となることがあります。

## カートリッジを取り出すには

**1** EJECTボタンを押します。

**2** AITカートリッジは自動的に排出されます。



**ご注意**

TAPE MOTIONインジケーターが点滅中はEJECTボタンを押さないでください。TAPE MOTIONインジケーターが点滅しているときにカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。

**3** データカートリッジ挿入口からAITカートリッジを取り出し、防塵カバーを閉めます。

# 防塵カバーの取り付け

防塵カバーが外れた場合は、以下の手順で取り付けてください。

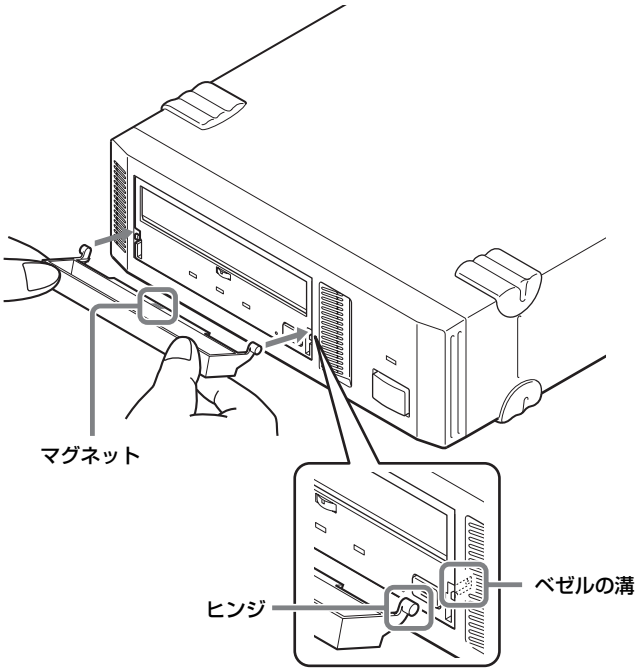
**メモ**

ドライブを使用する際は、防塵カバーを取り付けてお使いください。

**1** 図のように、防塵カバーを斜めに傾け、防塵カバーのヒンジ（左右2か所）をドライブのベゼルの溝に合わせます。

- 防塵カバー裏面のマグネット*がドライブのベゼルと向き合うように合わせてください。

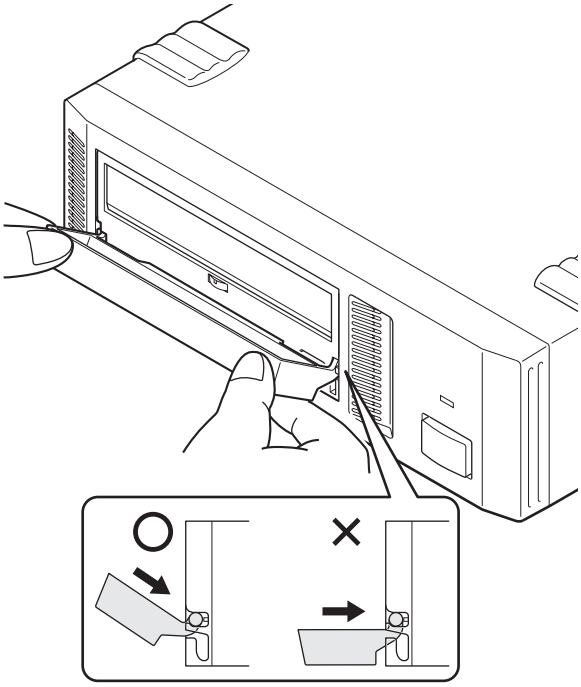
*このマグネットは、テープに影響を及ぼすものではありません。



**2** 防塵カバーの両端を、やや斜め上から、片方ずつカチッと音がするまで押して取り付けます。

**ご注意**

水平に押し込まないでください。防塵カバーが壊れる恐れがあります。



**3** 防塵カバーを閉じる。
これで取り付け完了です。

# 第4章　取り扱いについて

## 本機の取り扱い

### 安全にお使いいただくために

#### ■ 電源

□ AC 100 V～240 Vでお使いください。
□ 複写機やシュレッダーのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。

#### ■ 電源コードの取り扱い

□ コードの上に重いものを載せたり落としたりして、傷をつけないようにご注意ください。傷がついたまま使うと危険です。
□ 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷むことがあります。
□ 長時間お使いにならないときは、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

### 万一の故障を防ぐために

#### ■ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

#### ■ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管しないでください。

□ 湿気の多いところ
□ 温度の高いところ
□ 直射日光の当たるところ
□ ほこりの多いところ
□ 激しい振動のあるところ
□ 温度変化の激しいところ

#### ■ 通風

前面の空気穴および後面のファンをふさがないようにしてください。空気穴をふさぐと本体内部の温度が上昇し、正常に動作しなくなることがあります。

### ■ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急激に上げたときは、内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1時間以上待ってからお使いください。
結露が発生したままカートリッジを使い続けると、ドライブやテープに支障をきたすことがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにカートリッジを取り出してください。
なお、カートリッジを入れずに、本機の電源を入れたままにしておくと、結露が早く解消します。

### ■ 異常が起きたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店にご相談ください。

## その他ご注意いただきたいこと

### ■ 雑音電波について

本機は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
> 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

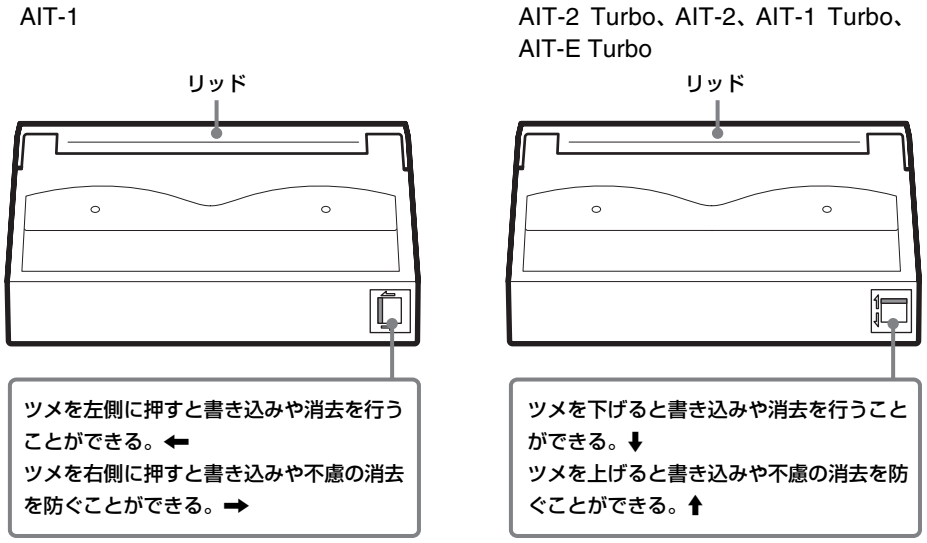
### ■ キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。
アルコール・シンナー・殺虫剤など、揮発性の溶剤は、使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

# カートリッジの取り扱い

## 取り扱い上のご注意

- □ カートリッジに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- □ カートリッジは、本機に挿入されると自動的にリッドが開く自動装填式です。カートリッジのリッドを手で開けて、中のテープに触れないでください。
- □ カートリッジは工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- □ カートリッジのツメは、不用なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要がないカートリッジは、書き込みができない状態にしておいてください。




**カートリッジの誤消去防止用ツメ**

- □ 温度差の激しい所や湿気の多い所では、結露により書き込み、読み取りができなくなることがあります。
- □ 書き込み、読み取りの必要がないときは、不必要に本体にカートリッジを出し入れしないでください。
- □ ご使用後は必ず本体からカートリッジを取り出しておいてください。
- □ カートリッジのMIC（Memory In Cassette）端子部分には精密部品が組み込まれていますので、指で触れたり傷つけたりしないでください。

## 保管上のご注意

- □ カートリッジはケースに入れて保管してください。
- □ ほこりやちりの多い所、直射日光の当たる所、暖房機の近く、湿気の多い所には保管しないでください。
- □ 自動車のダッシュボードやトレーには絶対に置かないでください。

# クリーニングについて

AITドライブユニットを最適な状態に保つために、必要に応じてAITロゴのついたクリーニングカートリッジを使い、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングが必要になると、CLEANING REQUESTインジケーターが点滅します。（13ページ）

## クリーニングのしかた

**1** 本機のデータカートリッジ挿入口に、クリーニングカートリッジを挿入します。
自動的にクリーニングが始まります。

**2** 約15秒後にクリーニングが終了し、クリーニングカートリッジが自動的に出てきます。

**ご注意**

クリーニングカートリッジのテープを巻き戻して再利用しないでください。クリーニングカートリッジを使い切った場合は、処分して新しくAITロゴのついたクリーニングカートリッジをお買い求めください。

# 主な仕様

## 性能

### 記憶容量

AITe200-UL： 80 Gバイト
（非圧縮、AIT-2 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）
208 Gバイト
（圧縮、AIT-2 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）*1

AITe130V-UL： 50 Gバイト
（非圧縮、AIT-2 データカートリッジ（230 m）使用時）
130 Gバイト
（圧縮、AIT-2 データカートリッジ（230 m）使用時）*1

AITe100-UL： 40 Gバイト
（非圧縮、AIT-1 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）
104 Gバイト
（圧縮、AIT-1 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）*1

AITe90-UL： 35Gバイト
（非圧縮、AIT-1 データカートリッジ（230 m）使用時）
91 Gバイト
（圧縮、AIT-1 データカートリッジ（230 m）使用時）*1

### データ転送速度（TAPE）

AITe200-UL： 12 Mバイト／秒
（非圧縮、AIT-2 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）

AITe130V-UL： 6 Mバイト／秒
（非圧縮、AIT-2 データカートリッジ（230 m）使用時）

AITe100-UL： 6 Mバイト／秒
（非圧縮、AIT-1 Turbo データカートリッジ（186 m）使用時）

AITe90V-UL： 4 Mバイト／秒（非圧縮時）

### バーストデータ転送速度

最大480Mビット／秒（USB 2.0）
最大400Mビット／秒（i.LINK）

### ビットエラーレート

$10^{-17}$ 以下

*1 2.6:1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境とデータの種類によって異なります。

## 環境条件

使用時
温度： 10 ℃～35 ℃（ΔT＜10 ℃／h）
湿度： 30%～80%（結露のないこと）
（最大湿球温度：26 ℃）

非動作時
温度： －40 ℃～70 ℃（ΔT＜20 ℃／h）
湿度： 10%～90%（ΔRH＜30%／h）
（最大湿球温度：45 ℃）

## 電源・その他

| | |
|---|---|
| 電源定格 | AC 100 V – 240 V 50／60 Hz 1.2 A |
| 最大外形寸法 | 198 mm×64.5 mm×246 mm<br>（幅／高さ／奥行き）<br>（突起部を含まず） |
| 質量 | 2.4 kg |

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## お問い合わせ先

本機に対する修理依頼・お問い合わせは、お買上げの販売店にお願いします。

## デバイスドライバー・接続情報について

最新のデバイスドライバー・接続情報については、ソニーのホームページでご案内しています。下記のURLを参照してください。
http://www.sony.co.jp/STORAGE/

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1